



ASAHI

INTECC

Your dreams. Woven together.

2009年6月期 第2四半期 決算説明

2009年2月16日

(証券コード:7747 東証二部、名証二部、ジャスダック)



1. 2009年6月期(上期)決算の概要

2. 今期・来期の業績見通し



2009年6月期(上期)決算のポイント(連結)

- 売上高は6,111百万円(前年同期比0.4%増)と微増
 - 増収事業：医療機器分野(メディカル、メディカルデバイス)
 - 減収事業：産業機器分野(インダストリアルデバイス)

- 医療機器分野を中心とした原価低減効果を主因に営業利益は2ケタ増益
 - 売上総利益は3,269百万円(前年同期比6.1%増)
(売上総利益率は前年同期比2.9ポイント上昇)
 - ▶ タイバーツ安など為替動向の変化に伴う製造経費の減少
 - ▶ 主力製品PTCAガイドワイヤーの増産による稼働率上昇
 - ▶ 主力生産拠点 ASAHI INTECC THAILAND CO.,LTDの生産性改善

 - 営業利益は811百万円(前年同期比22.9%増)
(営業利益率は前年同期比2.4ポイント上昇)
 - ▶ 販管費は研究開発費を中心に若干増加

 - 経常利益は389百万円(前年同期比40.3%減)
 - ▶ 営業外費用に円高影響による為替差損458百万円を計上

 - 四半期純損失は286百万円
 - ▶ 特別損失に投資有価証券評価損458百万円、たな卸資産評価損66百万円を計上



上期決算ハイライト(連結)

	2008年6月期 上期実績		2009年6月期 上期実績						
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2008/8/12	修正計画 2008/11/12	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比		修正計画比
							増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減率 (%)
売上高	6,086	100.0	5,755	6,243	6,111	100.0	+24	+0.4	△2.1
売上総利益	3,082	50.6	2,740	3,093	3,269	53.5	+187	+6.1	+5.7
営業利益	660	10.8	2	519	811	13.3	+151	+22.9	+56.3
経常利益	653	10.7	△27	141	389	6.4	△263	△40.3	+176.5
四半期 純利益	240	4.0	△110	△225	△286	-	△526	-	-
EPS	15.18円	-	△6.97円	△14.23円	△18.05円	-	-	-	-



セグメント別売上高

	2008年6月期 上期実績		2009年6月期 上期実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル (自社ブランド品)	3,664	60.2	3,760	61.5	+96	+2.6
メディカルデバイス (OEM・部材供給品)	1,113	18.3	1,198	19.6	+84	+7.6
<医療機器分野>	4,777	78.5	4,958	81.1	+180	+3.8
インダストリアルデバイス <産業機器分野>	1,309	21.5	1,153	18.9	△156	△11.9
合計	6,086	100.0	6,111	100.0	+24	+0.4



セグメント別営業利益

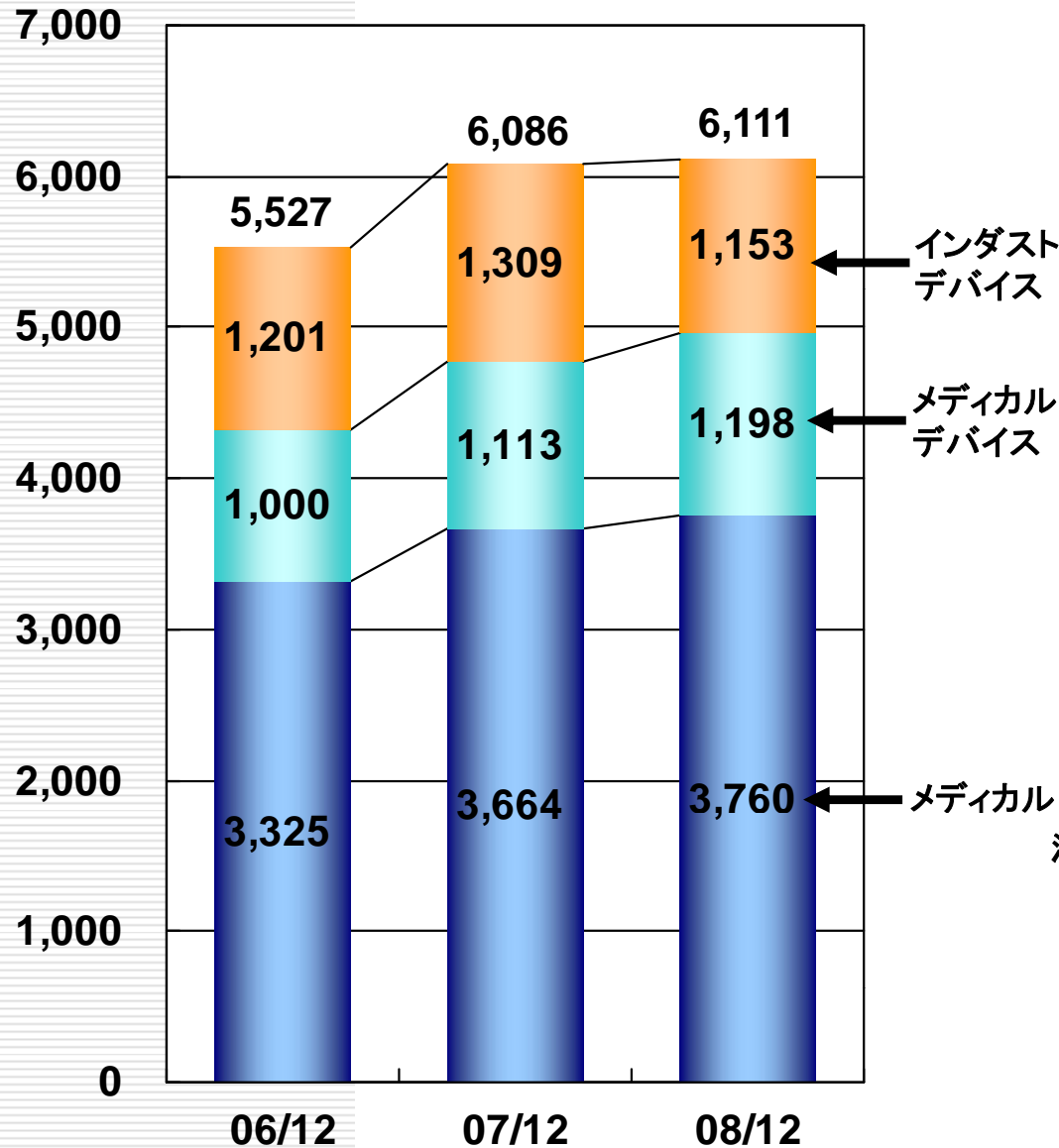
	2008年6月期 上期実績		2009年6月期 上期実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル (自社ブランド品)	854	69.5	1,001	67.7	+146	+17.2
メディカルデバイス (OEM・部材供給品)	149	12.2	277	18.8	+127	+85.3
<医療機器分野>	1,003	81.7	1,278	86.5	+274	+27.4
インダストリアルデバイス <産業機器分野>	225	18.3	200	13.5	△25	△11.3
計	1,229	100.0	1,478	100.0	+249	+20.3
消去・全社	△569	-	△667	-	-	-
合計	660	-	811	-	+151	+22.9



セグメント別の収益状況

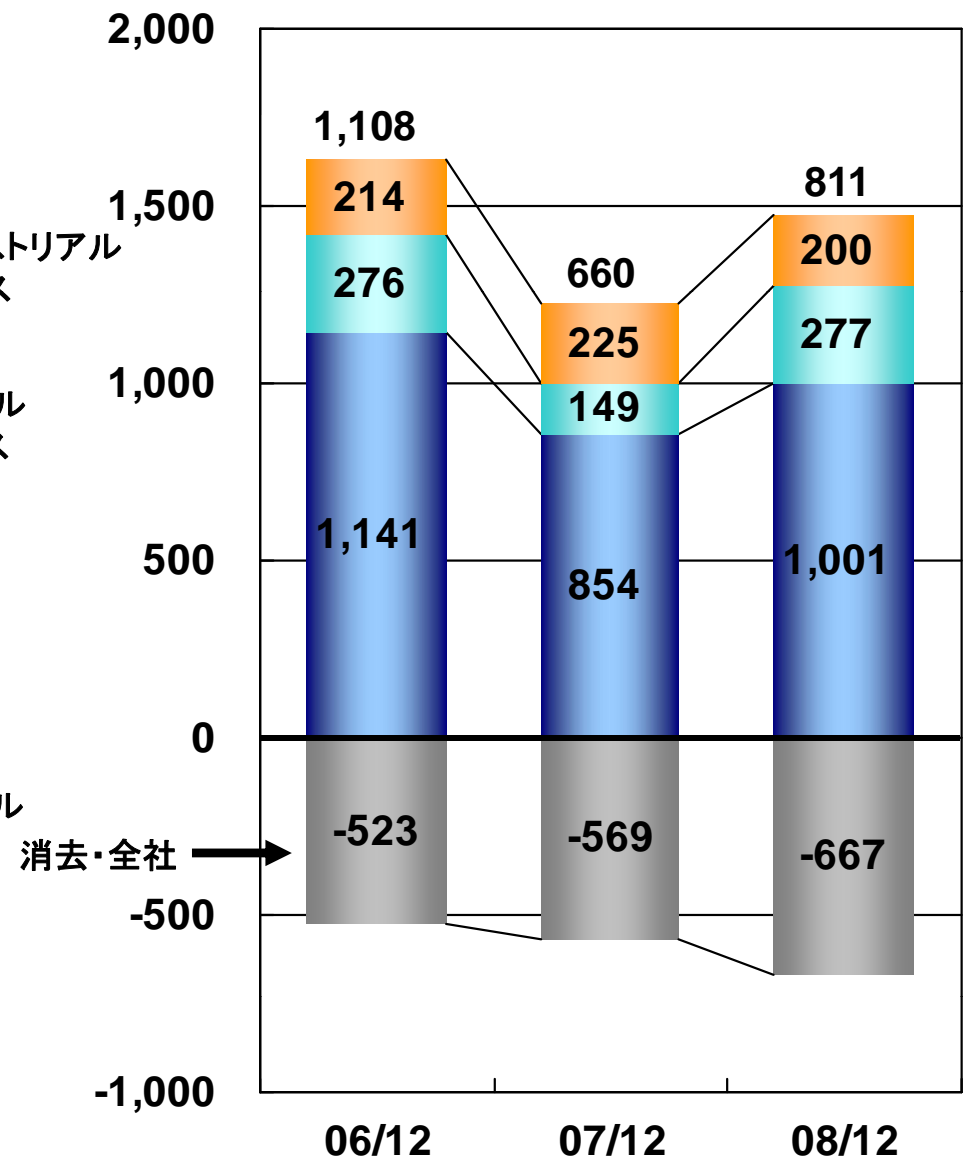
(百万円)

【売上高】



(百万円)

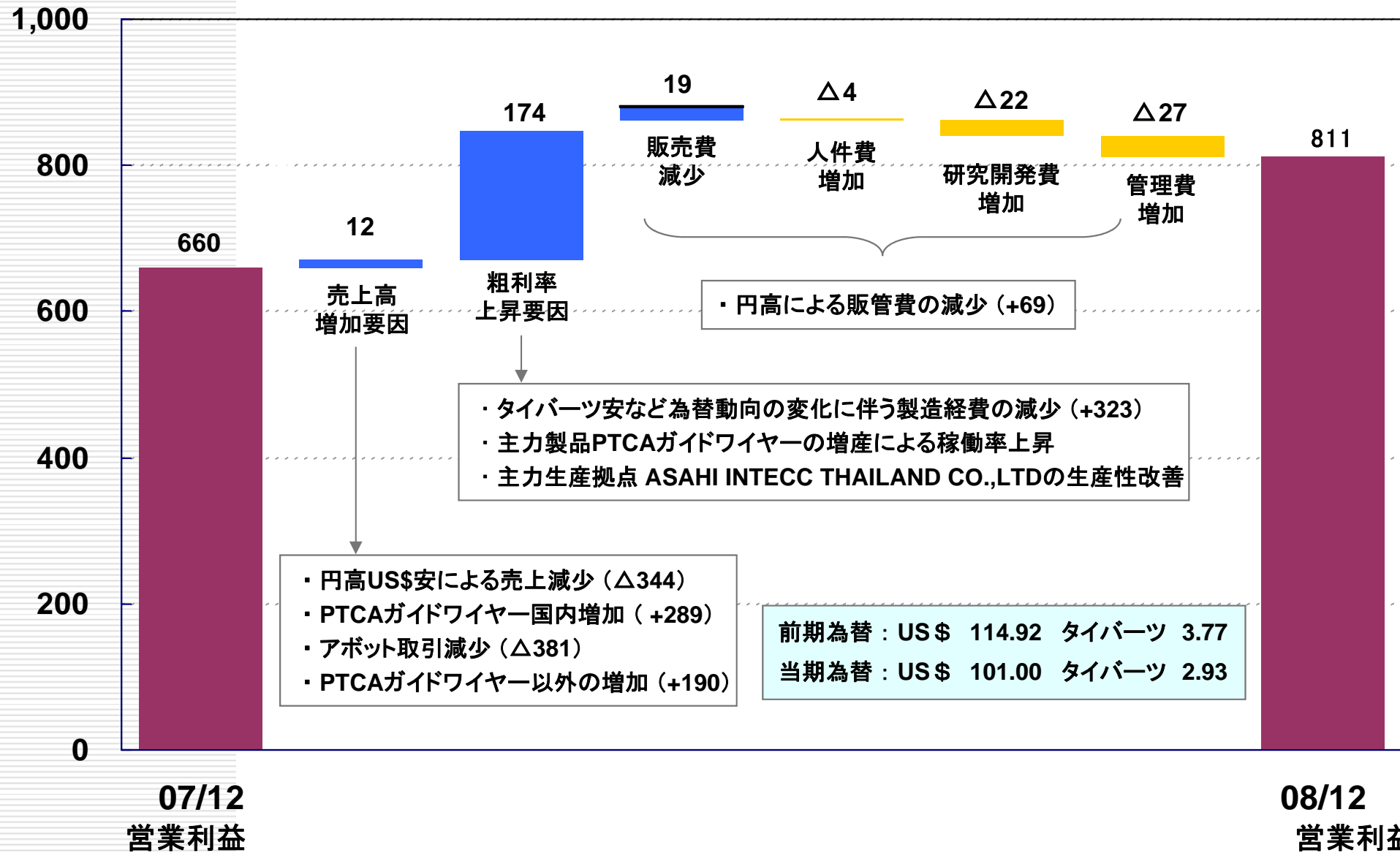
【営業利益】





営業利益増減要因分析-1 (為替の影響を含む)

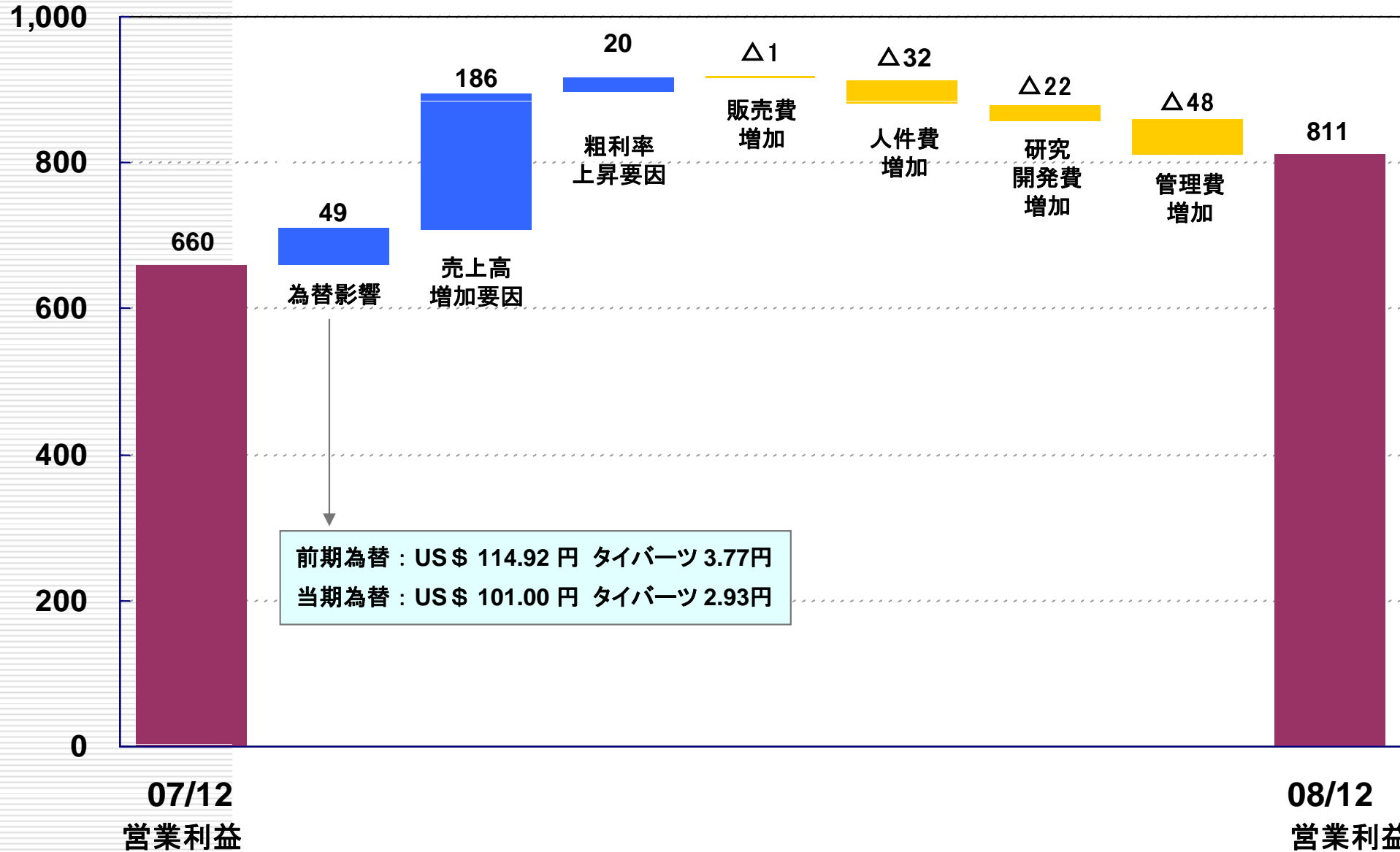
(百万円)





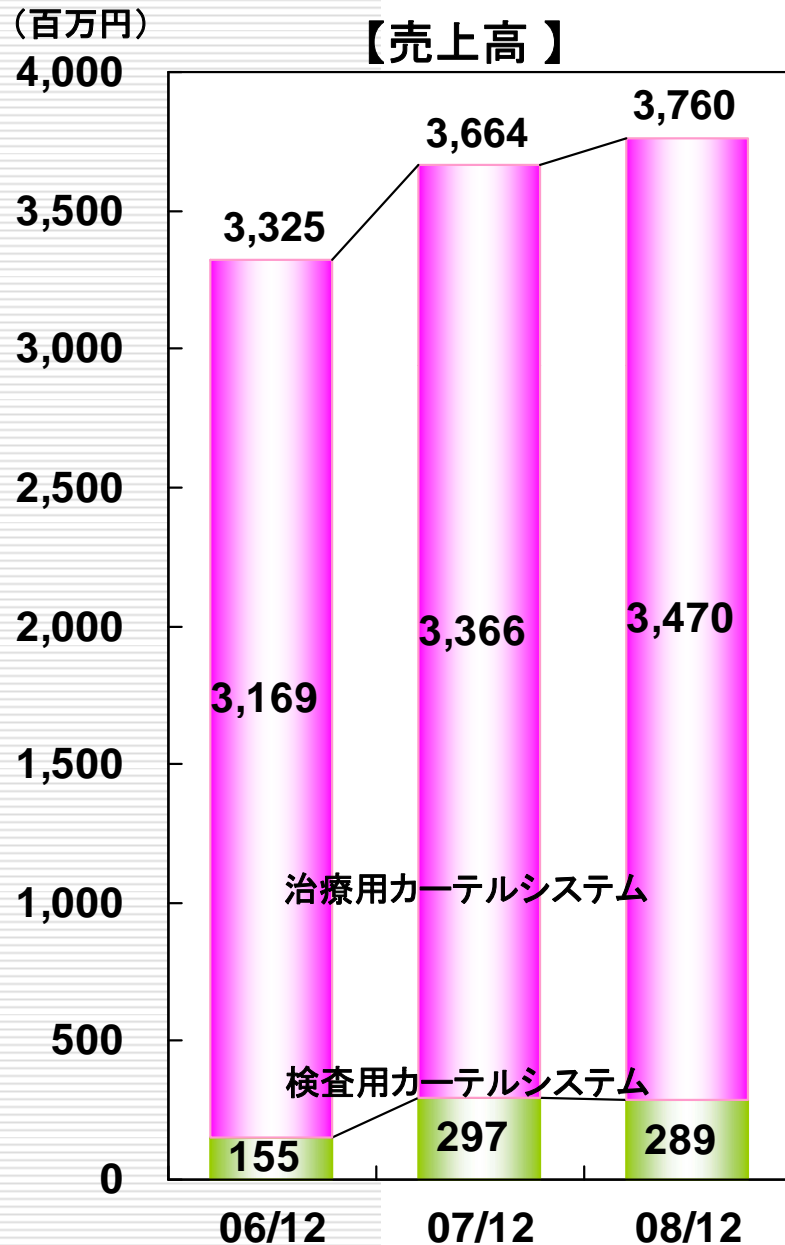
営業利益増減要因分析-2(為替の影響を除く)

(百万円)





メディカル事業の状況



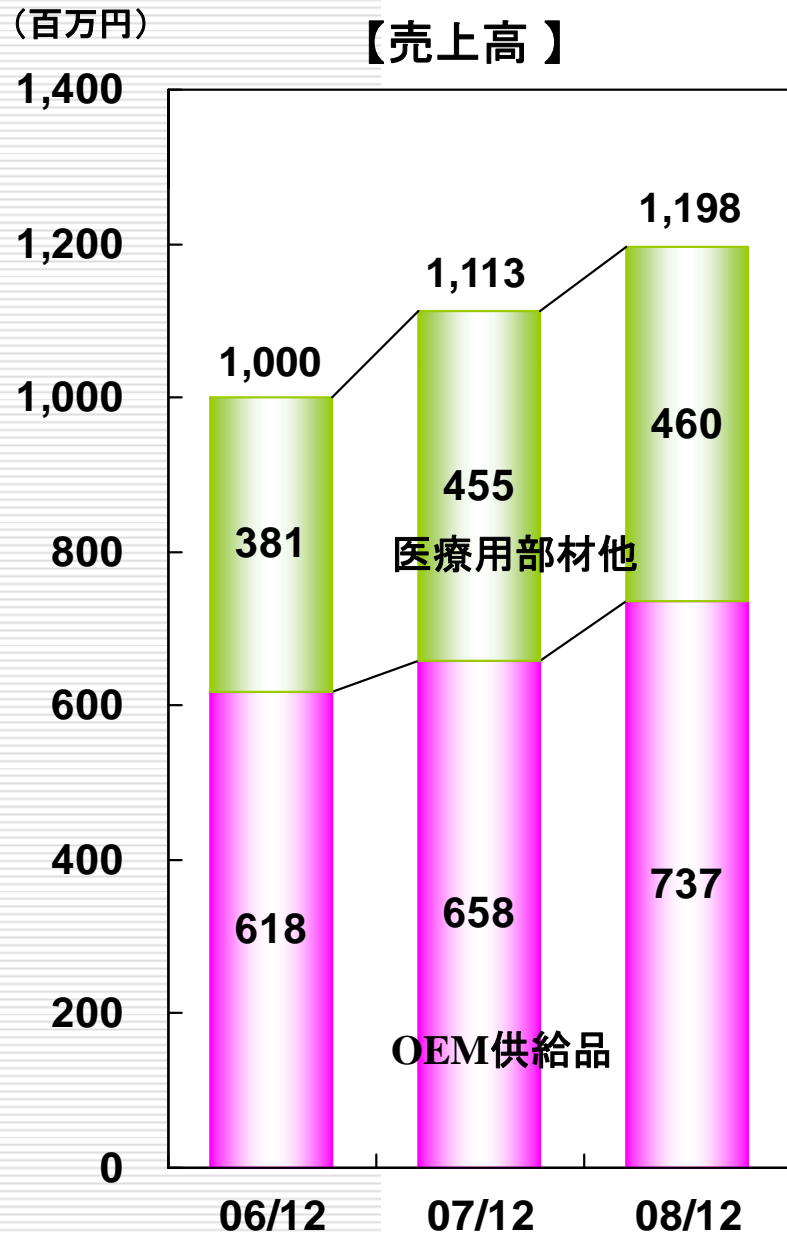
- 海外売上高が一時的に減少したものの、好調な国内販売に支えられて増収・増益
 - 売上高3,760百万円(前年同期比2.6%増)
 - 営業利益1,001百万円(同17.2%増)

- 治療用カテーテルシステム
 - 3,470百万円(前年同期比103百万円増、同3.1%増)
 - 国内:循環器系を中心に幅広い患部領域の製品が好調
 - ▶ PTCAガイドワイヤーの売上高が大幅に増加
 - ▶ PTCAバルーンカテーテルが新製品投入により好調
 - ▶ 循環器系以外の製品(ペリフェラルガイドワイヤー等)が好調
 - 海外:アジアでのPTCAガイドワイヤーの販売が好調
 - ▶ アボット社との取引が7月~10月に一時的に減少したものの、アボット社以外の海外売上高が増加

- 検査用カテーテルシステム
 - 289百万円(前年同期比7百万円減、同2.5%減)
 - ▶ 競合品との競争激化の影響により、売上はほぼ横ばい



メディカルデバイス事業の状況



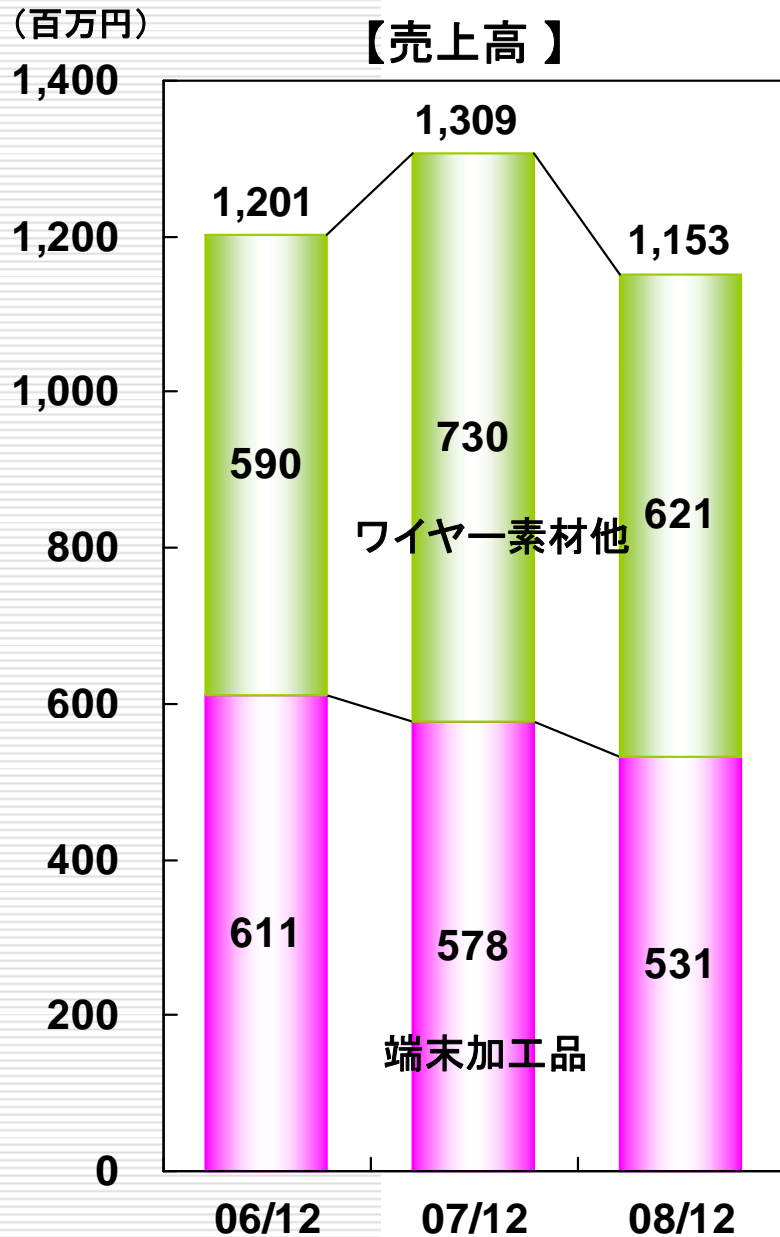
- 循環器以外の新領域分野への進出が順調に推移
医療用部材・OEM供給品ともに堅調で増収・増益
- 売上高1,198百万円(前年同期比7.6%増)
- 営業利益277百万円(同85.3%増)

- 医療用部材
- 460百万円(前年同期比5百万円増、同1.1%増)
- 国内市場向け内視鏡関連製品が好調に推移
- 米国市場向け耳鼻咽喉科系部材(蓄膿症治療)が増加

- OEM供給品
- 737百万円(前年同期比79百万円増、同12.0%増)
- 国内医療機器メーカー向けOEM供給品が堅調
 - ▶ 脳動脈瘤治療用の医療部材が増加
- 海外市場及び循環器以外の新領域分野への進出
 - ▶ 米国市場向けペリフェラル用ガイドワイヤー等



インダストリアルデバイス事業の状況



- 世界的経済停滞の影響から各市場の景況感が悪化
産業機器分野を取り巻く事業環境は厳しく減収・減益
 - 売上高1,153百万円(前年同期比11.9%減)
 - 営業利益200百万円(同11.3%減)
- 高付加価値製品へのシフト、販売価格見直しに注力

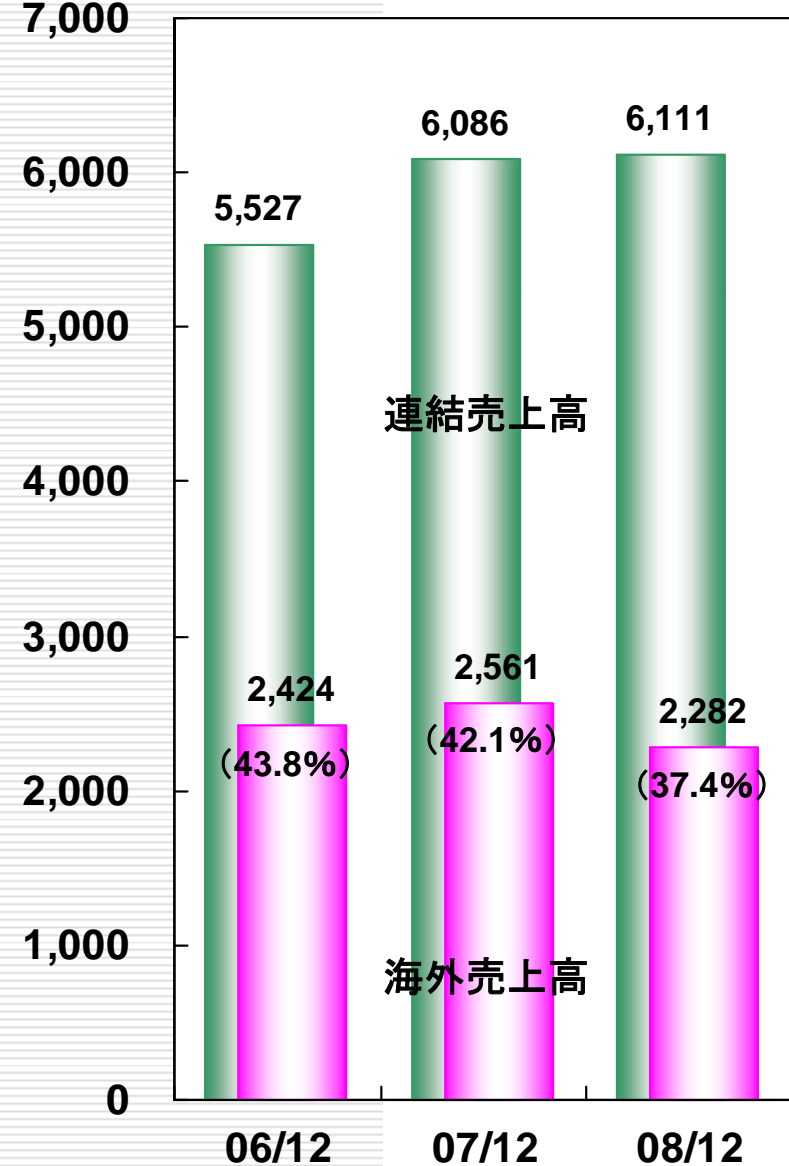
- ワイヤー素材
 - 621百万円(前年同期比109百万円減、同14.9%減)
 - レジヤー関連製品ダイワ精工向け新製品の販売開始
 - 自動車・建築・機械などの市況悪化による取引減少

- 端末加工品
 - 531百万円(前年同期比46百万円減、同8.1%減)
 - OA機器関連製品全般の取引が減少
 - ▶ OA機器複合化などに伴う部品市場価格の下落



海外売上高の状況

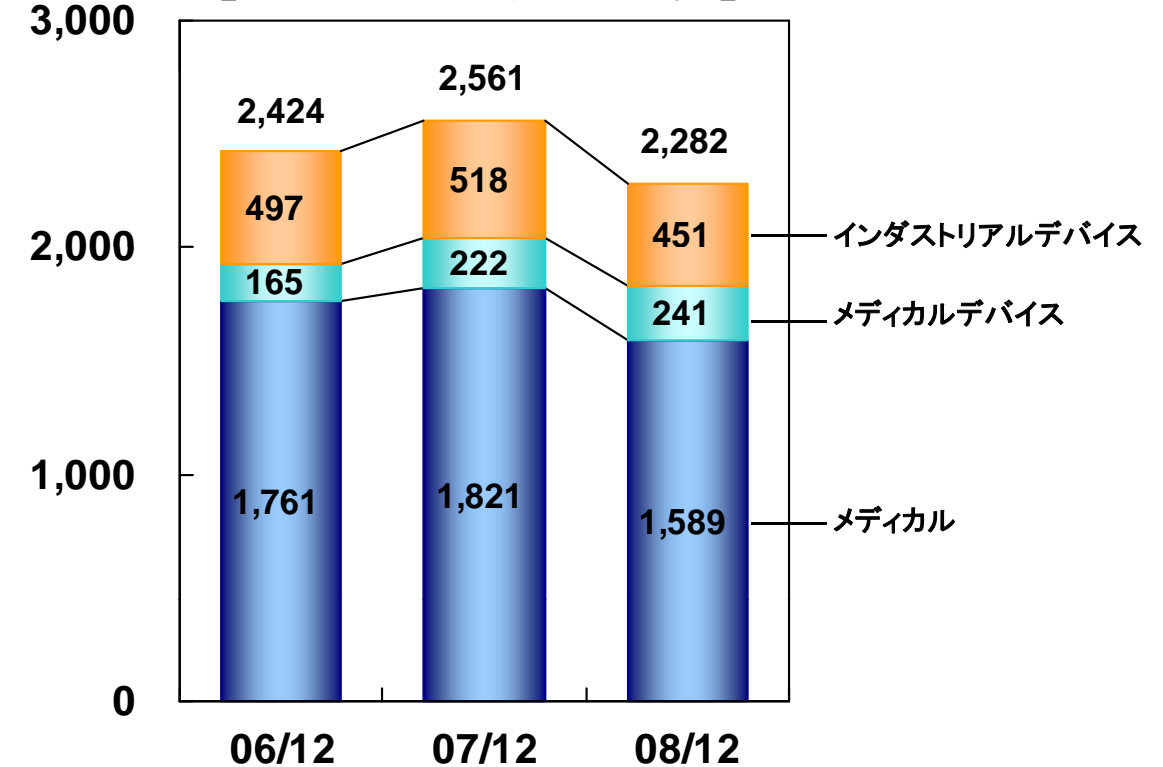
【海外売上高の推移】



□ 海外売上高は278百万円減少(前期比10.9%減)

- ▶ 2008年の取引数量について協議中であったアボット社への売上高が7月～10月に大きく減少
- ▶ 2008年10月末に契約書上で定められた最低取引本数を満たす取引本数の受注があり、11月中旬以降は急速に回復
- ▶ アジア・欧州などの地域は引き続き順調に増加

【セグメント別海外売上高】





損益の状況(連結)

	2008年6月期 上期実績		2009年6月期 上期実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	6,086	100.0	6,111	100.0	+24	医療機器分野の増収
売上原価	3,004	49.4	2,841	46.5	△162	製造経費の減少、生産性改善
売上総利益	3,082	50.6	3,269	53.5	+187	
販管費	2,422	39.8	2,457	40.2	+35	研究開発費の増加 +22
営業利益	660	10.8	811	13.3	+151	
営業外収益	47	0.8	88	1.4	+40	企業誘致促進条例奨励金交付 +10
営業外費用	54	0.9	510	8.3	+455	円高影響による為替差損 +458
経常利益	653	10.7	389	6.4	△263	
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	
特別損失	170	2.8	538	8.8	+367	投資有価証券評価損 +458
四半期純利益	240	4.0	△286	-	△526	



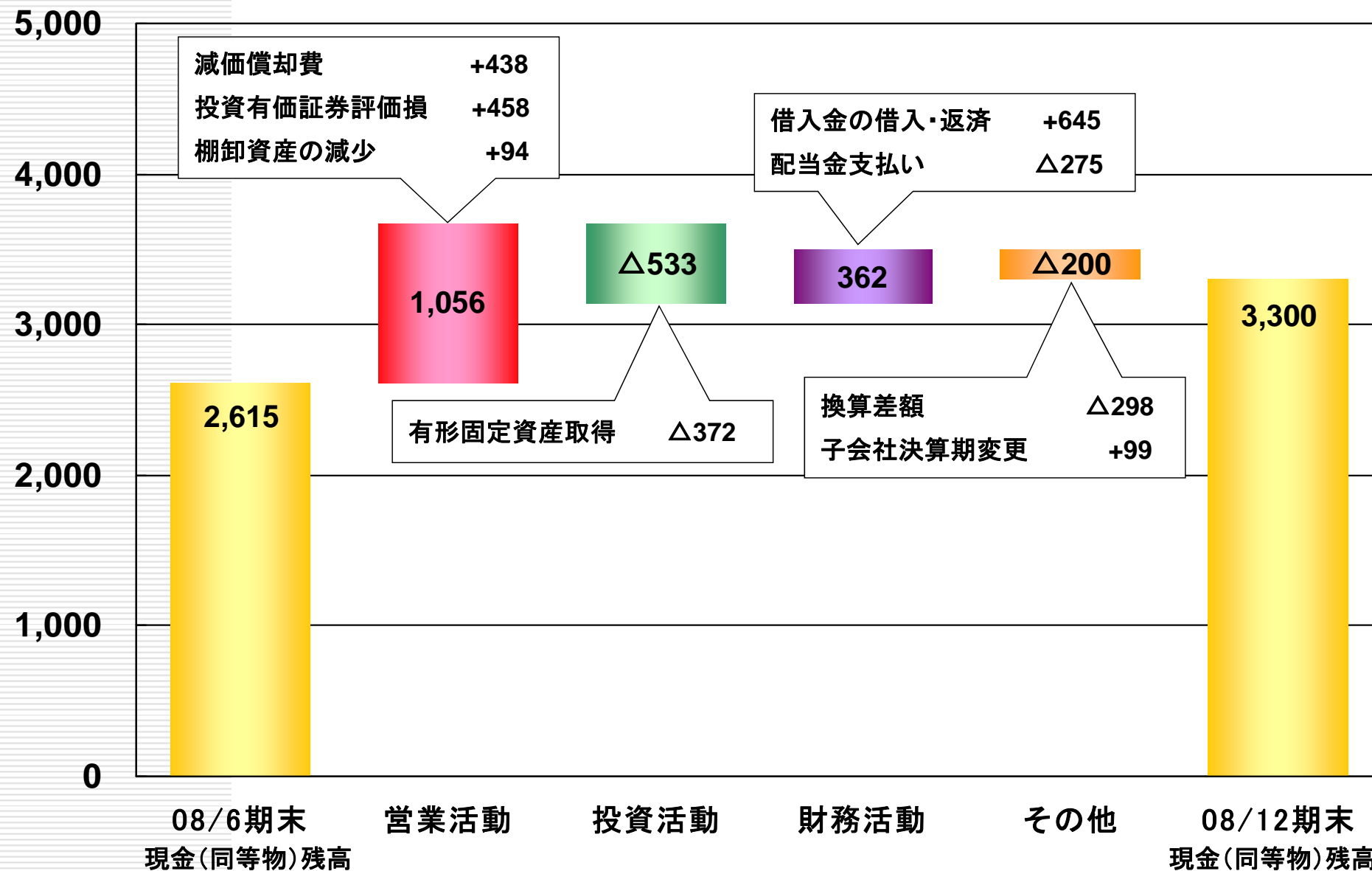
財務の状況(連結)

	2008年6月期 期末実績		2009年6月期 上期実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	9,803	49.5	10,343	53.7	+539	現預金の増加 +775 売上債権の増加 +91 棚卸資産の減少 △379
固定資産	9,989	50.5	8,935	46.3	△1,053	有形固定資産の減少 △652 投資有価証券の減少 △189
資産合計	19,793	100.0	19,279	100.0	△514	
流動負債	3,567	18.0	3,904	20.3	+337	短期借入金の増加 +376
固定負債	3,919	19.8	4,191	21.7	+271	長期借入金の増加 +210
負債合計	7,486	37.8	8,096	42.0	+609	
純資産合計	12,306	62.2	11,182	58.0	△1,123	利益剰余金の減少 △478 為替換算調整勘定の減少 △759
負債・純資産合計	19,793	100.0	19,279	100.0	△514	



連結キャッシュ・フローの状況

(百万円)





1. 2009年6月期(上期)決算の概要

2. 今期・来期の業績見通し



2009年6月期決算の見通し(連結)

- アボット社との協議の結果、同社が当初契約の最低取引本数を履行することで決着
 - 当社グループは、2008年1月からの実売数と最低取引本数の差額分全ての受注を受ける
 - 2009年度以降も、現契約に基づき欧米市場での販売を継続

- 2009年6月期(通期)の業績見通しは据え置き

～上期の営業利益・経常利益は当初予想を大幅に上回ったが、下記理由により変更見合わせ～

 - 為替や株式市場の動向が依然として不透明
 - インダストリアルデバイス事業
 - ▶ 世界各地における景気失速の影響を受け、取引市場である自動車・OA機器・建築等々のあらゆる市場が縮小傾向にあり取引減少となる可能性が高いこと
 - メディカルデバイス事業
 - ▶ 海外向け医療部材において納入先の在庫調整や積極的な開発投資を控える兆しがあり、取引減少となる可能性がでてきたこと

- 売上高は13,264百万円(前期比13.4%増)と堅調な推移を見込む
 - ▶ アボット社向け売上の増加、アボット社以外の取引も好調に推移

- 営業利益は1,452百万円(前期比37.4%増)
 - ▶ 経費圧縮に努める一方、将来の成長に向けた先行的な費用が増加(研究開発費、営業力強化のための人員及び諸経費)

- 経常利益は1,044百万円(前期比11.4%増)

為替の前提

下期 : US\$ 98.00 円 タイバーツ 3.20円
 通期 : US\$ 100.29 円 タイバーツ 3.16円

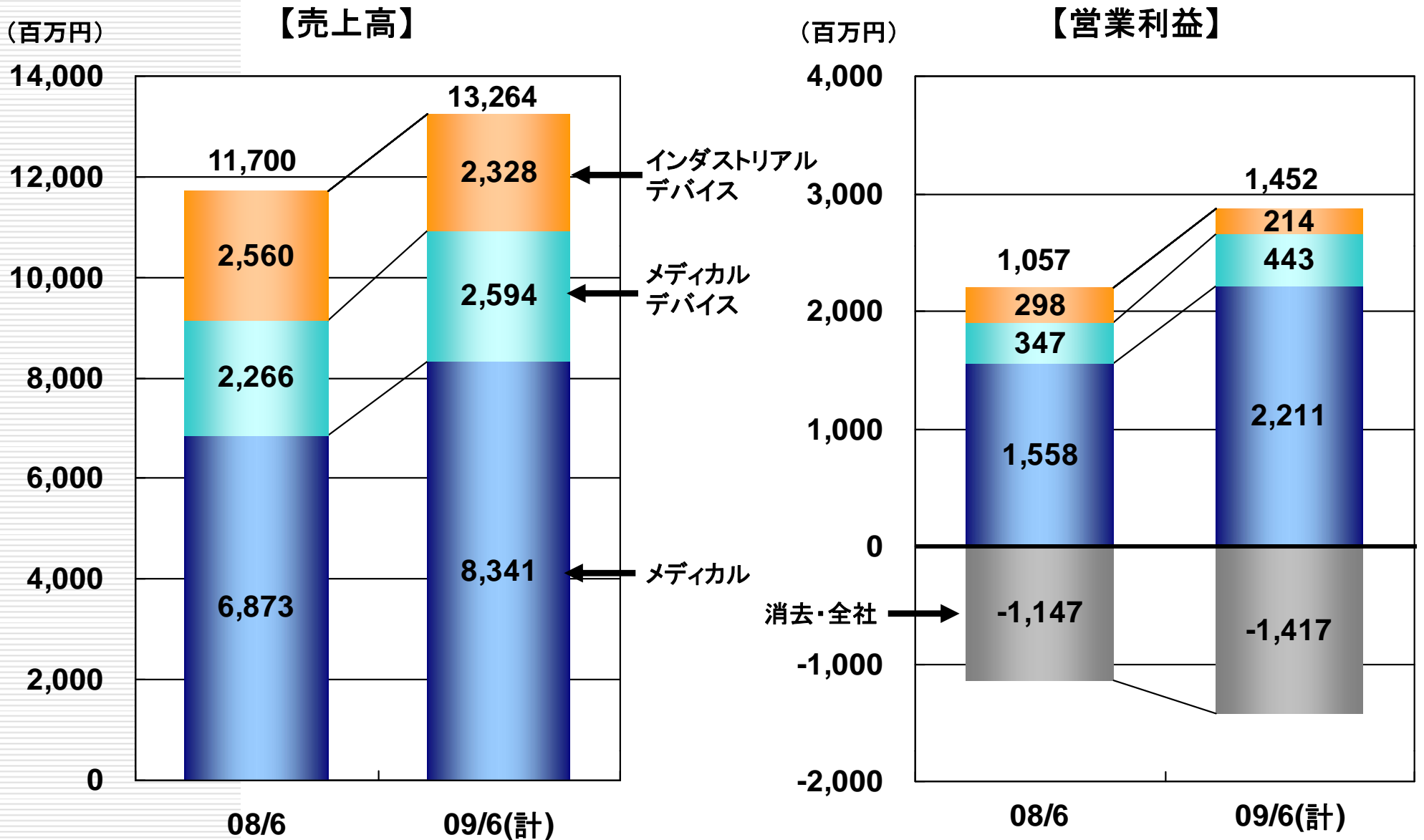


2009年6月期業績見通し(連結)

	2008年6月期(実績)		2009年6月期(計画)					
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2008/8/12	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比		期初計画比
						増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減率 (%)
売上高	11,700	100.0	12,331	13,264	100.0	1,563	13.4	7.6
売上総利益	5,866	50.1	5,991	6,885	51.9	1,019	17.4	14.9
営業利益	1,057	9.0	328	1,452	10.9	394	37.4	342.6
経常利益	937	8.0	269	1,044	7.9	107	11.4	287.5
当期純利益	473	4.0	35	307	2.3	△165	△35.0	773.3
EPS	29.86円	-	2.22円	19.42円	-	-	-	-



セグメント別の収益見通し

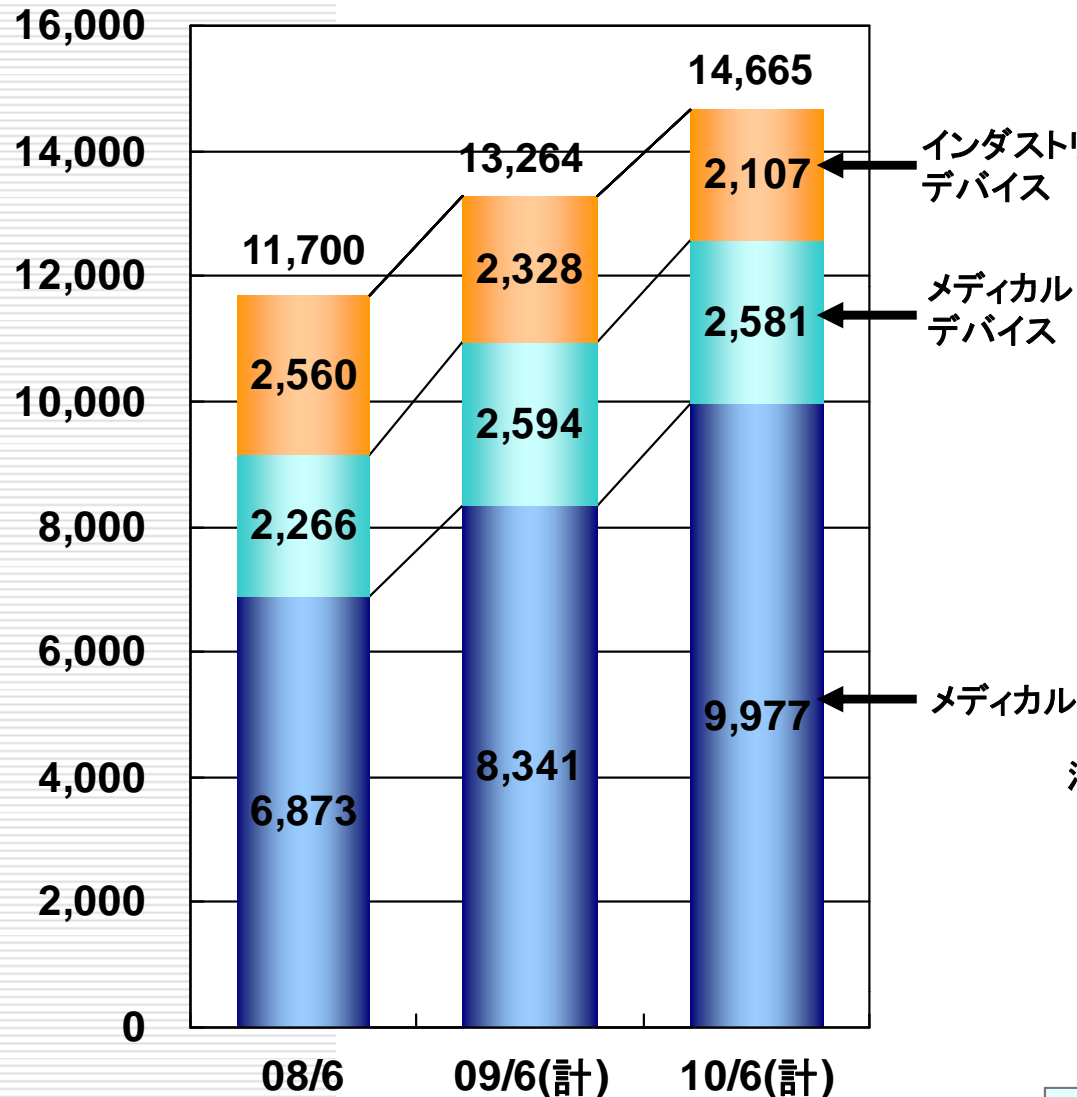




10/6期の計画及びセグメント別の収益見通し

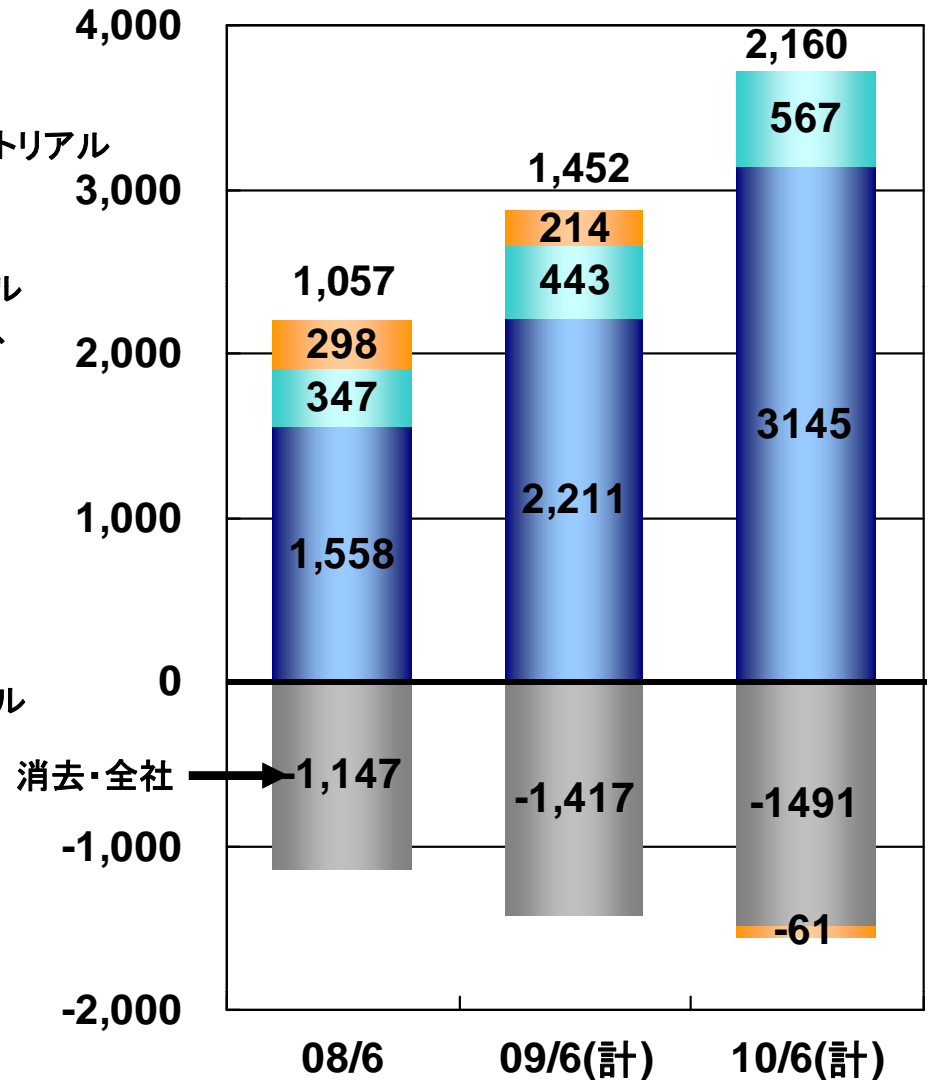
(百万円)

【売上高】



(百万円)

【営業利益】

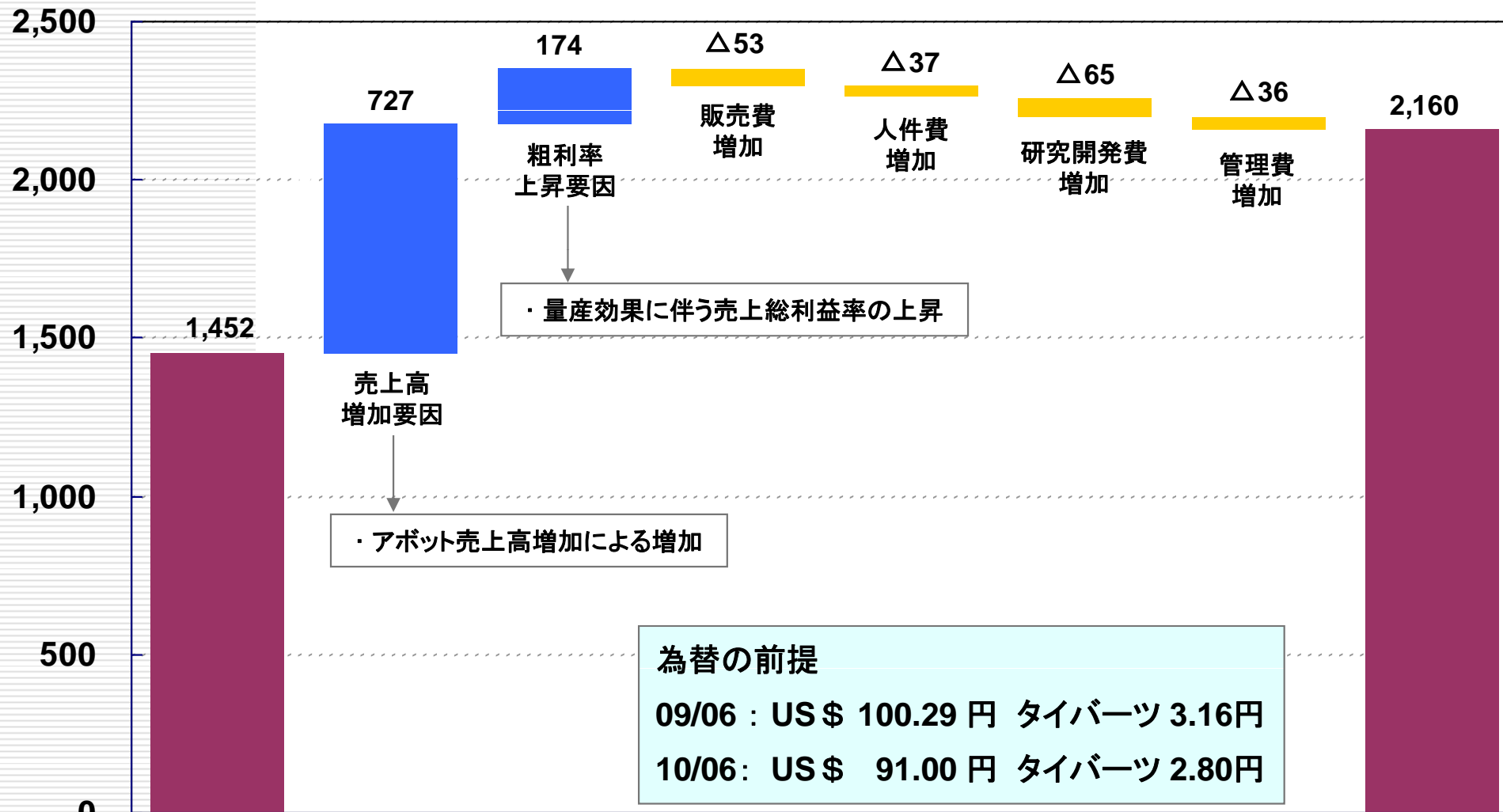


10/6期(計)の為替前提: US\$ 91.00円 タイバーツ 2.80円



09/6～10/6の営業利益増減要因分析

(百万円)

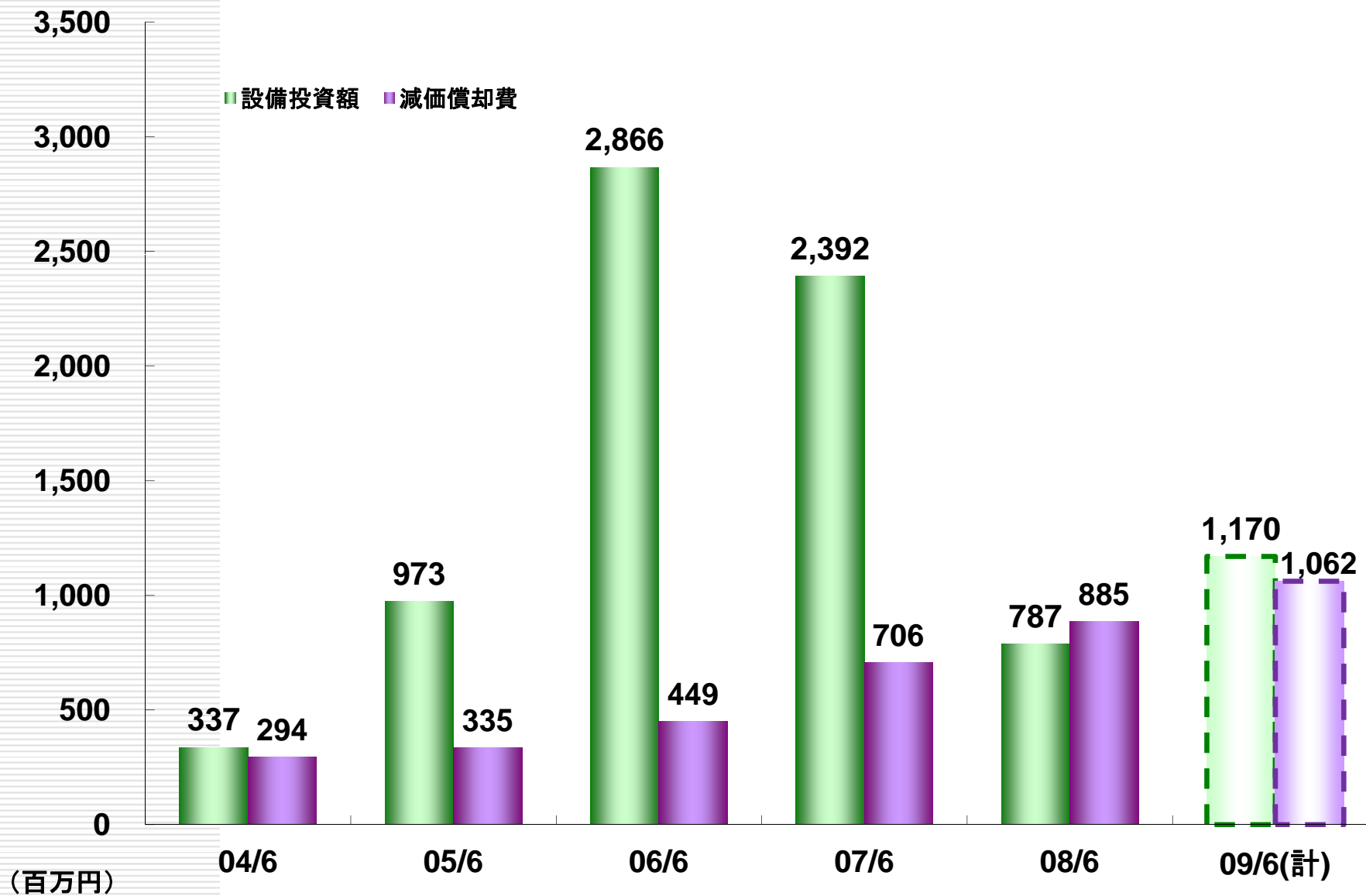


09/6 (計画)
営業利益

10/6 (計画)
営業利益



設備投資の実績及び計画





本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 052-768-1218 (Direct)

URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>